

88	建設局	道路アセットマネジメントによる予防保全型管理	
事業概要	<p>東京オリンピックから高度成長期にかけて、集中的に整備された橋梁などが、近い将来、一斉に更新時期を迎えることから、更新の平準化と総事業費の縮減に取り組み、予防保全型管理を推進するため道路アセットマネジメントを導入した。</p> <p>都はこれまでも、全ての橋梁を対象に昭和62年から5年に1回の定期点検や地震発生時の異常時点検及び日常点検を行い、必要に応じて補修、補強を実施し、橋梁の保全に万全を期しているが、今後、高齢化が進むとより一層の徹底した安全対策が必要となる。</p> <p>そのため、点検結果等を基に、劣化の予測、適切な工法による対策、将来の交通量予測、経済効果等を盛り込んだ道路アセットマネジメントを活用し、橋梁の更新時期の平準化と経費の削減を図り、管理する橋梁の長寿命化を計画的に行なう。また、橋梁の長寿命化によって架け替え総量を抑制し、CO₂の削減など環境負荷の低減を図る。</p>		
これまでの経過	<p>平成16年4月 道路アセットマネジメント導入に向けた取り組み開始</p> <p>平成18年4月 道路アセットマネジメントシステム及び道路資産管理システムなどの構築</p> <p>平成20年4月 学識経験者を含む「東京都橋梁長寿命化検討委員会」の答申</p> <p>平成21年3月 「橋梁の管理に関する中長期計画」を策定</p> <p>平成21年度 長寿命化工事第一号 東雲橋工事着手</p>		
現在の進行状況	<p>「東京都橋梁長寿命化検討委員会」の答申に基づき、橋梁長寿命化計画などを内容とする「橋梁の管理に関する中長期計画」を平成21年3月に策定した。</p> <p>「橋梁の管理に関する中長期計画」の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本計画は、橋梁の予防保全型管理を推進するために策定したもので、これにより更新ピークの平準化と約1.1兆円のコスト縮減を図る。またCO₂の排出量を約110万トン削減するなど環境負荷の低減に寄与する。 2. 30年間（平成21年度～平成50年度）の「長期計画」のほか、長寿命化を軌道に乗せる「10年間の中期計画」とスタート時直近の3年間の「アクションプラン」においては、具体的な橋梁名や対策内容を明らかにしている。 3. 管理する全ての橋梁を「長寿命化対象」、「一般管理対象」、「小橋梁（架け替え対象）」の3つに区分し、長寿命化対象となる橋梁は耐用年数を100年以上延ばす（清洲橋など重要文化財は長期保存・活用させる）対策をとる。 <p>平成22年度 峰谷橋・神谷陸橋長寿命化工事着手</p> <p>平成22年度 トンネルアセットマネジメントの構築に向け、トンネル詳細健全度調査を実施</p>		
今後の見通し	<p>今後は、策定された計画に基づき、橋梁長寿命化対策などを順次実施するとともに、道路アセットマネジメント対象施設をトンネルなどへ拡大することで、予防保全型管理を推進する。</p>		
問い合わせ先	建設局 道路管理部 保全課		電話 03-5320-5366